学校番号	T3029

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	４単位	年次	１年次
使用教科書	「新編　現代の国語　改訂版」（大修館書店）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では、実社会で必要となる文章の読み方や書き方、そして発表の仕方などについて学びます。
・論理的な文章を読んだり書いたりできる能力は、みなさんにとって生涯の財産となります。ぜひ意欲的に取り組んでください。
・授業を通じ新たな考え方や自分と異なる意見に触れることで、みなさんの考えを広げ、深めるきっかけとしてほしいと思います。
・漢字やことわざ、対義語や類義語などについても基本的なところから学習していきます。
・忘れ物をせず、しっかり授業を受けるようにしてください。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

【知識及び技能】

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広めたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	ことばをひらく ［教材］ 「この春、なにを始めよう」 「コミュニケーションは技術だ」 自作教材	a：文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 c：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確に捉え、要旨や要点を把握しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート	ノート 振り返りシート
	日本語を使いこなす ［教材］ 「正しく書こう」 「文を整え、文をつなぐ」 自作教材	a：文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解することができる。 b[書]：読み手の理解が得られるよう、論理の展開などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。 c：読み手の理解が得られるよう、論理の展開などを考えて、文章の構成や展開を工夫しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート 発表の様子
	わかりやすく説明する ［教材］ 「ことばを選んで話そう」 「伝わるように話そう」 自作教材	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 b[話/聞]：自分の考えが的確に伝わるよう、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、相手の理解が得られるように話の構成や展開を工夫したりすることができる。 c：　自分の考えが的確に伝わるよう、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、相手の理解が得られるように話の構成や展開を工夫したりしようとしている。	定期考査 ワークシート	ワークシート	ワークシート ノート 振り返りシート 発表の様子
	わかりやすく説明する ［教材］ 「説明のしかた」 「ナンバーワンか、オンリーワンか」 「生きることと食べることの意味」 自作教材	a：文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 c：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確に捉え、要旨や要点を把握しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート ノート 振り返りシート
	わかりやすく説明する ［教材］ 「絵や写真を説明しよう」 「手順を説明しよう」 自作教材	a：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 b[書]：読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考え	定期考査 ワークシート 小テスト	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート

		て、文章の構成や展開を工夫することができる。 c：読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫しようとしている。			
	聞く力・話す力を育む ［教材］ 「聞き取りのレッスン」 「聞き上手になろう」 「ショートスピーチをしよう」 自作教材	a：話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 b[話/聞]：話し言葉の特徴を踏まえて話し、相手の理解が得られるように表現を工夫することができる。 c：話し言葉の特徴を踏まえて話し、相手の理解が得られるように表現を工夫しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート ノート 振り返りシート 発表の様子
	聞く力・話す力を育む ［教材］ 「聞くコミュニケーション」 「聞いたことを工夫して伝えよう」 自作教材	a：書き言葉の特徴や表現の特色を踏まえ、文章の効果的な組み立て方について理解することができる。 b[書]：読み手の理解が得られるよう、文章の構成や表現の仕方を工夫することができる。 c：読み手の理解が得られるよう、文章の構成や表現の仕方を工夫しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート 発表の様子
後期	論理を読み取る ［教材］ 「論理の展開」 「商品と贈り物の違い」 「水の東西」 自作教材	a：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。 b[読]：文章の内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 c：文章の内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確に捉え、要旨や要点を把握しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート	ノート 振り返りシート
	伝え合いのレッスン ［教材］ 「人間だけが「話し合い」を選べる」 「対話のレッスン」 「話し合って結論を出そう」 自作教材	a：話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 b[話/聞]：実社会の中から適切な話題を決め、目的を共有し、様々な観点から情報を収集、整理して、結論の出し方を学ぶことができる。 c：実社会の中から適切な話題を決め、目的を共有し、様々な観点から情報を収集、整理して、結論の出し方を学ぼうとしている。	定期考査 ワークシート	ワークシート	ワークシート ノート 振り返りシート 発表の様子
	説得力を高める ［教材］ 「つなぎ方しだい」 「意見文の基礎を学ぼう」 「反対意見を想定した意見文を書こう」 自作教材	a：主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。 b[書]：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。 c：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫しようとしている。	定期考査 ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート 発表の様子
	情報と向き合う ［教材］ 「情報の吟味」 「情報の力関係」	a：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。 b[読]：文章の内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。	定期考査 ワークシート	ワークシート	ワークシート ノート 振り返りシート

	「どこもかしこもプラスチック」 自作教材	c:文章の内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確に捉え、要旨や要点を把握しようとしている。			
	情報と向き合う ［教材］ 「レポートを書こう」 自作教材	a:実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 b[書]:実社会の中から適切な題材を決め、読み手の理解が得られるよう、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味し、論理の展開や文章の構成を工夫することができる。 c:実社会の中から適切な題材を決め、読み手の理解が得られるよう、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味し、論理の展開や文章の構成を工夫しようとしている。	定期考査 ワークシート	ワークシート	ワークシート ノート 振り返りシート
	他者を動かす(1) ［教材］ 「どう伝えるか」 「魅力的な企画書を書こう」 「プレゼンテーションをしよう」 自作教材	a:実社会において表現するために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の特色、用法および表記の仕方などを理解し使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができる。 b[書]:目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、情報の分量や重要度などを考え、説明や表現の仕方を工夫することができる。 c:目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、情報の分量や重要度などを考え、説明や表現の仕方を工夫しようとしている。	定期考査 ワークシート	ワークシート	ワークシート ノート
	他者を動かす(2) ［教材］ 「案内文を書こう」 自作教材	a:実社会において表現するために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の特色、用法および表記の仕方などを理解し使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができる。 b[書]:目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、情報の分量や重要度などを考え、説明や表現の仕方を工夫することができる。 c:目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、情報の分量や重要度などを考え、説明や表現の仕方を工夫しようとしている。	定期考査 ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　40　）時間

・書くこと　…　（　60　）時間

・読むこと　…　（　40　）時間